

テレビ信号の直交変換符号化方式

テレビジョン伝送は従来アナログ方式で行われていたが、通信路のデジタル化に伴い、将来の多チャンネル時代を見越して、デジタル方式によるテレビ信号の圧縮符号化技術が必要とされた。KDDはその技術開発に先進的に取り組み、1971年（昭和46）、直交変換技術に基づくテレビ圧縮符号化伝送方式を開発した。これは、日本のテレビ信号の高能率符号化研究の端緒となっただけでなく、世界的にも先駆的な研究であった。

出典：KDD 社史